

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

September 2016

十勝に台風。

気象庁のデータでは、9年ぶりの北海道上陸だそうです。それも1週間に3つも集中して襲来してきました。今日も、大きく育った台風10号の影響で風が強くなってきました。短時間に雨風が強まり北海道各地で浸水、道路や線路が土砂崩れで遮断されています。一部の地区では生活インフラが深刻です。収穫前の畑も冠水し、ジャガイモや玉ねぎに被害が拡大しています。テレビで九州や中国・紀伊半島の被害を他人事のように見ていましたが、ゴメンナサイ謝ります。

十勝の天候は、もうどうしようもない状態になっています。山脈を越えた札幌や旭川は好天なのに道東だけが悪いのです。6月から3ヶ月、曇天、長雨、日照不足がたたって十勝の畑作農家に大きな打撃を与えています。畜産も、牧草の収穫不良と共に、生まれた子牛が弱くて育たない傾向です。十勝の経済は、農業次第。この後の天候の回復に期待します。



## 活動のお知らせ

- 10月31日(金) 新ひだか町コミュニティセンター 第21回北海道肉牛研究会退会  
11月 5日(土) 京都大学農学部 畜産システム研究会第30回大会および総会  
11月10日(木) とかちプラザ 地方特定品種全国推進会議・日本短角種産地交流会  
11月11日(金) 北海道畜産公社 第4回北海道肉専用種枝肉共励会開催  
とかちプラザ 第13回資源循環型肉牛生産シンポジウム2016開催

※開催要項・案内は随時発行致します。

## NEWSばか読み

- 15年度 外食産業の市場規模拡大2.2%増 7/28:
- 平均寿命が過去最高 女性87歳 男性80歳 7/28:まだ僕たち青年
- 貿易統計1-6月 牛肉伸びる 705t50億円@7千円  
7/29:この値段で売れるの
- 農林水産省 16年産米 過剰作付連続して解消 7/30:食料米大丈夫か
- 近大 ウナギ味のナマズ養殖事業開始  
7/30:畜大 牛肉味の豚肉を開発して
- 都知事に小池 初の女性都知事に 8/1:厚化粧でも心は隠さないように
- 15年度 食料自給率6年連続39% 8/3:農林水産省 これで満足?
- 米国オバマ大統領 TPP議会承認断念 8/3:えっ国会予算ついてるよ
- 7月和牛子牛相場3ヶ月連続の下げ 8/3:モオー限界
- シカゴ穀物相場 世界各国豊作予想で麦10年ぶりに安値 8/4:
- アサヒビール調査 経済不安節約ムードで家飲み派半数超し 8/5:私もです
- ゲリラ豪雨 各地で年々顕著に多発傾向 8/5:気象は正直
- 十勝畜産公社 シンガポール輸出解禁 8/5:東南アジアに売り込むぞ
- ファームノート 牛発情疾病兆候の発見に耳取付器開発  
8/6:イヤリングが発信機
- ヤマト運輸 農畜産物輸出で海外販路開拓にサポート  
8/8:流通業の情報量に期待
- 地方の企業 首都圏への転入が増加 地方で働き手無く 8/8:地方創生と裏腹
- 東京理科大 乳牛管理にAI活用 :CPからAIの時代に農業も進む

- オホーツク興部町 町施設利用し農家がバイオマス発電  
8/10:地域総和の取組み評価
- 今日から山の日 8/11:知らなかった…出勤しなかった
- 夏食材 天候良く生育順調 卸相場3~4割安 8/11:地域格差大きく
- 香港フードエキスポ 料理方法セットで和牛すき焼き提案  
8/12:食べ方提案は必要
- 沖縄 連日の強日差しで海水温上昇サンゴ白化で死滅  
8/13:海の中も大変
- 農林水産省 HPのデータから耕作放棄地の文字が消える  
8/14:えっデータ操作
- 総務省 国内版ふるさとワーキングホリデー創設 8/17:食農のチャンス
- グッチ、カルティエ相次ぐ値下げ円高・内外格差是正  
8/17:高級ブランドから格差是正
- 首都圏百貨店 売上増、地方は苦戦が続く 8/17:東京集中型経済鮮明
- 食品メーカー パックご飯が成長株 8/17:チン以外調理器具必要なしか
- 農林水産省 和牛トレス情報を海外でも検索可能に  
8/17:英語版出すのかな
- 食品機械メーカー 農業者6次化補助政策で売り上げ増  
8/22:有効利用どこまで
- 牛丼3社 収益向上 原料安でコスト改善 8/23:海外原料価格差が反映
- セコマ創業者赤尾会長 死去 8/24:北海道コンビニに貢献大
- クボタ・井関農機メーカー中国に工場新設し農業機械の大型化進行  
8/24:農業大国に
- 政府 特例で兵庫県に一般企業の農地所有を認可 8/25:使用目的の制限は

## 東京直近NEWS (8/29 Shi-REPORT)

**ホルス** ホルス 販売状況は非常に悪い。お盆休み以降、特に低迷しており産地側は在庫過多状態と聞き及ぶ。産地側は工場稼働と供給義務の意図から最低頭数に縮小しながら集荷と畜加工実施も、販売価格から逆算すると枝相場は未だ高値の状況。枝相場も若干下がり傾向だが、産地相対取引価格は下げきれず販売状況は近年に無いくらい停滞しており、在庫が非常に重くなりつつある。量販店も小売価格が引き上げられたことで、輸入ビーフのチラシが大半であり国産牛離れが加速している。9月以降気温の低下から鍋需要にはいり、スライス物の需要に期待があるが現状からは大きく好転する見込みは非常に弱い。

**経産牛** 道内の生体市場は変わらず高値安定。畜産公社の釧路工場閉鎖から、一部の経産牛の動きに変化がみられるとのこと。当初は、帯広と北見でのと畜と見通していたが、それが全てでは無い模様。販売面は、ホルス同様に挽材・パーツ系ともに鈍い。挽材については、生体牛の高騰から末端売価の値上げに伴い輸入物、豚にシフトしており、引合いが弱い。ここにきて各社在庫に余裕があり、価格放出の情報も多々。パーツの引合いについても、ホル去の荷動きが非常に鈍いことから価格競争になっており、経産牛のパーツ価格に条件次第では同程度まで下落しておりシェアを侵食してきている。

## 左先生の畜産学研究NEWS

今年はリオ五輪の開会式と広島市の平和記念式典の日が重なり、高齢の日本人は8/15の終戦の日を思い浮かべます。あの混乱と食糧難の時代を耐えてきた末裔が今ポケモンGOに夢中になって周囲のことに気を配らず、マスコミが囁き立てる構図に将来の不安を感じます。一方、リオ五輪の日本の若者の活躍は大きな期待感を生みました。戦後71年間戦争に直面せずに過ごしてきた日本人にとって、農業の最大課題が食料増産から成長ビジネスの一つに変質し、日本の中間層や貧困層を相手にせず海外富裕層向けの輸出やブランド化に走っています。北海道に1週間に3つの台風が上陸し、各地に稲や玉タマネギ、トウモロコシなど農作物の被害をもたらしました。地球温暖化など自然環境も確実に変化しています。後継者に繋ぐ持続的農業生産体制の構築は国民的課題です。e-びーふNews33号の学術情報は、以下の通りです。

### 1. 日本畜産学会報(2016.87:1. 3-12)英文誌抄録

#### 黒毛和種における1塩基多型密度パネルからのジェノタイプ補完の正確度 (小川伸一郎他、京大院農)

黒毛和種肥育牛の各細胞核内にある60本の染色体中の4つの核酸(ATGC)の配列の1つだけが異なるのを1塩基多型(SNP)と呼び、塩基配列の0.1%は存在し、1%以上存在すれば選抜可能なSNPと識別されます。イルミナ社の50Kチップを黒毛和種肥育牛の遺伝情報に適用して補完の正確度を調べたところ90-97%と高い正確度が得られ、50K程度の低密度SNPチップはジェノタイプとの併用でゲノミクス予測に実用的と思われる。

### 2. 2016.8.23家畜栄養生理秋季集談会 (17th AAAPサテライトシンポジウム: 英文要旨から)

#### 1) 離乳前後の子牛のルーメン絨毛上皮組織における遺伝子発現量の比較(盧

#### 尚建他、東北大院農)

反芻動物におけるルーメン機能の発達は離乳で促進され、離乳前後のルーメン上皮の発達要因をin silico DDD(コンピュータによるdigital differential display)やmRNA-配列解読技術により解明しました。その結果、離乳前後のルーメン上皮組織で転写頻度の高い遺伝子の中からHMGS2, AKR1C1, FABP3という3つは発現量が高く変化が大きいことが示され、"retinoin"というVt A誘導体がprotein kinase Bを介して加齢とともに反芻家畜の最も有力な離乳調節因子と思われました。

#### 2) 肥育牛の脂肪組織中に褐色/ベージュ脂肪組織が存在することの証明ならびに飼料条件の変化に伴う活性の変化(舟場正幸他、京大院農)

褐色/ベージュ脂肪組織は哺乳動物の幼齢期にUcp1 (uncoupling-protein1)の発現により産熱器官として重要ですが、肉用牛では肥育効率を低下させます。黒毛和種肥育牛の白色脂肪組織にもRT-PCR増幅や組織化学的手法でUcp1の存在が確認され、粗飼料多給よりVtA不足気味の濃厚飼料多給の方が白色脂肪組織でのUcp1発現が低いことが明らかになりました。

### 3. 畜産技術(2016 #8) 黒毛和種雄子牛のビタミンE体内動態メカニズムを探る—健康な仔牛づくりを目指して—(芳賀 聡)

黒毛和種を中心に肥育素牛の価格高騰は新聞でも報道されていますが、牛の少子化と共に原因の一つに黒毛和種子牛の脆弱性があります。仔牛への脂溶性Vt E補給はストレス緩和と免疫機能の賦活に有効とされ、黒毛和種子牛の獲得免疫に重要な胸腺のVtE蓄積性が低いことが関連遺伝子のmRNA発現分布の検討で明らかになりました。

## 道総研 畜産試験場NEWS

### 「育成期および肥育期におけるサイレージ給与法」⑤ 全6回シリーズ

道総研 畜産試験場 肉牛グループ 遠藤 哲代

### 3. 現地事例調査



#### 調査農家の概要

- ・ 乳肉複合経営  
平成18年から黒毛和種の繁殖を開始  
平成23年から肥育を開始
- ・ 飼養頭数 (平成26年11月1日現在)  
繁殖雌牛 : 64頭  
雄育牛 : 15頭  
育成牛 : 40頭  
肥育牛 : 20頭
- ・ GSは自家生産 (不足分は購入)



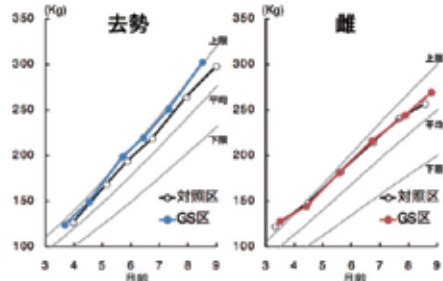
#### 飼料給与量 (kg/頭)

月齢	雌		去勢	
	GS	濃厚飼料	GS	濃厚飼料
4	0.5	2.0	6.7	3.0
5	1.3	3.0	10.0	2.3
6	6.3	3.0	10.0	3.3
7	8.8	3.0	10.0	4.0
8	10.0	3.5	13.3	4.0
9	10.0	3.5	13.3	4.5

雄の4〜8か月齢は、肥育も給与濃厚飼料は、育成用配合飼料とミネラル等



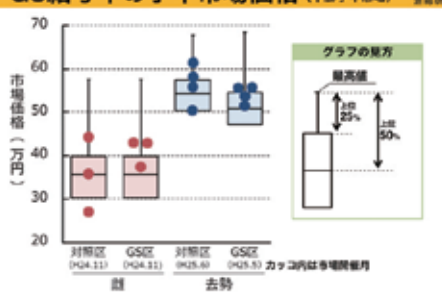
#### 体重の推移



#### GS給与牛の写真



#### GS給与牛の子牛市場価格 (十子牛市場)



#### 現地実証牛の枝肉成績

種	雄	去勢	雌
父	安福久	越前昌	光平順
出荷月齢	27	28	27
体重(kg)	431	450	478
骨付	A4	A5	A5
ロース芯	67	75	67
バラ厚	8.7	8.6	7.8
皮下脂肪	2.6	2.6	3.1
BMS	8	10	8
締り・締め	4	5	5
BFS	3	3	3